

令和7年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県

学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立鹿島小学校（外10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立鹿島小学校	http://www.sopia.or.jp/kasyo/wp/%ef%bc%97%ef%bc%8e%e5%a4%96%e5%9b%bd%e8%aa%9e%e6%b4%bb%e5%8b%95%e3%83%bb%e5%a4%96%e5%9b%bd%e8%aa%9e%e3%81%ae%e5%ad%a6%e7%bf%92

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

* 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに ひとつのまちに～」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

【実施の効果】

1・2年生において外国語活動を導入した特別の教育課程を実施した結果、以下の効果があった。

- ・身近な内容の単語や表現を学ぶことにより、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。

- ・歌やチャンツを通して、英語特有のリズムを身に付けている。
- ・授業以外でも英語であいさつをしたり、簡単なやり取りをALTと楽しんだりしている様子が見られる。

【手立て】

- ・話す力の向上のために、毎単元で実施したパフォーマンステストに加え、英語でのやり取りを通して、児童が達成感を味わうことができるように、全国のALTとオンラインで会話を楽しむ機会を設けた。
- ・読む力・書く力の向上においては、音と文字のルールを取り入れた読み書き指導の実施に加え、6学年の2つの単元で、話したことを書き、書いた内容を友だち同士で読み合う活動を取り入れた。

(2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・聞く力に焦点を当てながら4技能をバランス良く育成するために、授業中の教師・ALTの英語の発話量を増やすことと、少し長めの英語を聞く機会を設け、分からない内容に直面した際の対応テクニックを指導していく。
- ・話す力においては、「Small Talk」の活動やパフォーマンステストの練習中に、既習表現の使用を児童自らが気付き、使えるようにするために、教師の発問を工夫していく。
- ・読む力・書く力においては、引き続き音と文字のルールを取り入れた読み書き指導に加え、児童が意欲的に「読みたい」「書きたい」と思える学習課題を考えていく。